

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の疾患によりよい対応ができる	現在の事象をタイムリーに的確な表現で記せるようになる	声掛け、ボタンタッチでの介護継続中。	ヶ月
2		利用者の疾患によりよい対応ができる	医師に利用者をより把握できる情報提供方法を見つける	協力診療所医師とのカンファレンス継続中。利用者の疾患を含めた現在行っている日常の援助・健康状態の様子等を短い時間の中で伝えられる方法の取り組み継続中。	ヶ月
3		既往歴発作の的確な対応	入居中の利用者の既往歴にはどのような発作が起こり得るのかを知る	パーキンソン病の方の意識(反応)がない場合の関わり方として、経過観察にはどのようにかわるかなど担当医より学ぶ。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。